

7.6 国会議員会館前木曜行動に500名が結集！



7月5日の雨上りの夕方、500名（主催者発表）の労働者と市民が国会議員会館前に結集し、JR総連、JR東海労も参加した。

主催者を代表して、総がかり行動実行委員会の福山真劫共同代表は「憲法を破壊して、国家権力を私物化しながらの安倍首相の暴走は止まっていない。安倍政権の本質は戦後レジームからの脱却であり、憲法9条の改悪を絶対に許してはならない。立憲野党と連帯し、国会を包囲し続けよう」と訴えた。

今回の木曜行動には共産党、社民党、立憲民主党の国会議員が駆けつけ、国会情勢等を含めて挨拶した。また、弁護士や市民団体が連帯の挨拶を行った。

行動提起は小田川義和共同代表が「国会周辺での行動を継続し、3000万人署名の達成に向け、さらに取り組みを広げよう」と呼びかけた。

コールでは「森友・加計疑惑徹底追及」、「高プロ強行徹底糾弾」、「TPPイレブン絶対反対」、「辺野古新基地建設反対」、「原発再稼働絶対反対」、「憲法改悪絶対反対」、「安倍政権を皆で倒そう」と声を上げ、安倍9条改憲と暴走政治をストップさせ、安倍政権を退陣させるために、団結してガンバロウ！と締めくくった。

